

甘い本

まだまだ寒さのしみるこの季節。
甘いものを口に含むと、ちょっぴり幸せな気持ちになりませんか？
ほんのり甘めな恋愛小説から、お菓子の名店まで。
色々な「甘い」本をご紹介します。

物語



「アイスクリン強し」
島中恵著
講談社
BFハ
篠崎ほか所蔵

時は明治。文明開化とともに様々なものが移ろいゆくなか、外つ国から来た南蛮菓子も西洋菓子へとその名を変えた。西洋菓子職人・皆川真次郎が行くところ、菓子里にまつわる事件あり。明治時代の空気とともに、真次郎が作り出すお菓子とライトな謎解きをお楽しみください。



「ちよんまげぷりん」
荒木原著
小学館
BFア
篠崎ほか所蔵

江戸時代から現代にタイムスリップしてきた侍・木島安兵衛。居候している遊佐家で、恩返しのために家事をしているうちにお菓子作りの才能に目覚めていく……。何事にも真剣な安兵衛の姿勢に感銘を受けました。



「賢者の贈り物」
(「1ドルの価値／賢者の贈り物」所収)
O・ヘンリー著
光文社
B933へ
篠崎ほか所蔵

誰もが知っている名作ですが、考えてみれば“本当に大事なものを、愛する人を想う気持ちはお金では買えないのだ”という事を、直球で謳ったこの小説こそ、ベスト・オブ・甘い本なのかもしれません。



「ぼくのパジャマでおやすみ」
山本文緒著
集英社
BFヤ
篠崎ほか所蔵

さあ、この本で思い出してみてください。意地悪な見かたは抜きにして。「自分をカッコ良く見せたい」、「モテたい」、そして恋に憧れ、初めて恋をしたあの頃の気持ちを……。甘いなあ、何もかも。



「お菓子手帖」
長野まゆみ著
河出書房新社
Fナ
篠崎ほか所蔵

昭和のころの駄菓子や洋菓子の思い出に、当時の文化を盛り込んだ甘く懐かしい物語です。昭和にタイムスリップ！ ところで「動物ヨーチ」ってどんなお菓子かわかりますか？



「甘党流れ旅」
酒井順子著
角川書店
596.6サ
篠崎ほか所蔵

「甘味屋さんは女の居酒屋である」という持論を持つ著者が、美味しい甘味を求めて日本全国を旅するエッセイ集。「できればそこでしか食べられないもの」という基準のもと、メジャーなものから知る人ぞ知るものまで、47都道府県の甘味を紹介。本書で出てくる甘味は、甘いものが苦手な私でも、その地に訪れたら是非食べたいと思う逸品ばかりです。



「ハプスブルクプリンセスの宮廷菓子」
関田淳子著
新人物往来社
288セ
篠崎ほか所蔵

女帝マリア・テレジアが最も愛した飲み物は、甘い甘いココアだった。栄華を誇ったハプスブルク家の人々は皆スイーツが大好きでした。巻末のレシピを参考に、ハプスブルクの味を再現してみたいかたがでしょう。

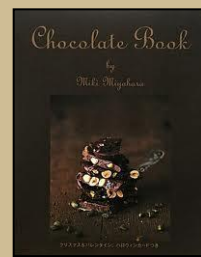


「自由が丘スイーツ物語」
阿古真理著
NTT出版
383.8ア
篠崎ほか所蔵

「スイーツの街」として全国的に知られるようになった自由が丘。街の歴史とともに、日本洋菓子の草分け的老舗店から人気パティシエの店まで、洋菓子の歴史を辿ります。



作って
食べて



「Chocolate Book」
Miki Miyahara著
アップオン
596.6ミ
篠崎ほか所蔵

人気のチョコレートショップ「ショコラティエ ミキ」の味を、初心者でも失敗なく作ることができるよう家庭用にアレンジしたレシピを紹介。これであなたも「おうちショコラティエ」です！



「分とく山の甘味ごよみ」
野崎洋光著
講談社
596.6ノ
篠崎ほか所蔵

日本料理の名店「分とく山」の季節の甘味の中から、家庭でも手軽に作れるものを中心に選んだレシピ集。ワンランク上のおやつ作りに挑戦してみませんか。



「キャンディ RECIPE BOOK」
萩田尚子著
毎日コミュニケーションズ
596.6オ
篠崎ほか所蔵

ぐるぐるペロペロキャンディやバタースカッチ、昔懐かしいしょうが飴やきなこ飴など、なんと簡単におうちで手作りできます！ かわいいキャンディの数々に思わず頬が緩みますよ。



「男のパフェ 首都圏版」
スイーツ番長著
日本出版社
596.6ス
篠崎ほか所蔵

「男の」とありますが、もちろん女性にもオススメです！ ページをめくればため息が出そうなパフェの写真が目白押し。絶対に食べたい一品に出合ってしまうこと請け合いです。

そのメロディに魅せられて♪

今号のテーマは「甘い」……。さて困った、甘い歌なんて思い付かないぞ！ と考えているうちに出てきた曲は「SWEET MEMORIES」、いや、待て！ あれは甘ずっぱい思い出を歌った曲のはず……。次に出たのは「ハートのイヤリング」、これも違うだろう……。

CD「Bible」

松田聖子 K1マ13451 中央ほか所蔵

やがて「赤いスイートピー」「夏の扉」「青い珊瑚礁」などなど、次から次へと出てくるのは聖子ちゃんの歌ばかり！！ ということで、ほろ苦い歌もありますがこちらのCDで「甘い恋の歌」をお楽しみ下さい。

人物ブックマーク

第十七葉 宮澤賢治

「注文の多い料理店」や「風の又三郎」など数多くの名作を遺した宮沢賢治。彼の作品は、野菜にはじまり、肉、魚、果物、お菓子といった食べ物の話題が驚くほどたくさん登場します。中でも童話には、餅、団子、飴、金平糖、パイ、ワッフルといったお菓子の出てくるお話や場面がいっぱいあります。その中から二つの物語をご紹介します。「鹿踊りのはじまり」は、鹿たちが手ぬぐいと格闘？！して最後に団子を食べることができ、喜び踊り出すというお話。「雪渡り」は、幼い兄妹が子狐と仲良くなり、狐の幻燈会に招かれ、

人物ブックマークとは、著名人とその著作および関連本を紹介するコーナーです。

そこで狐を信じて団子を食べたことで信頼関係が生まれるお話です。どちらも食と人の結びつきが語られます。彼の作品には、教育者や農業者としての考えや信仰などから様々な解釈がありますが、私は、どの作品にも共通するユーモア、登場人物の愛らしさと、方言や言葉遊びによるリズム感が心地よく、風土、食、動物や子どもたちに向ける賢治の優しい眼差しが素晴らしいと思います。美味しそうなお菓子と一緒にどうぞお楽しみください。

宮澤賢治関連本

「〈新〉校本宮澤賢治全集」第12巻〔1〕	宮沢賢治著	筑摩書房	918ミ2-1	篠崎ほか所蔵
「図説宮澤賢治」	天沢退二郎ほか編	筑摩書房	B910ミ	篠崎所蔵
「宮沢賢治のお菓子な国」	中野由貴文	平凡社	910ミ	西葛西所蔵